

Sen'i Gakkaishi
(Journal of The Society of Fiber Science and Technology, Japan)

繊維学会誌

特集 〈サステナブル社会(その2)〉



2019 Vol.75 8

一般社団法人 繊維学会

I Z A W A T O W E L

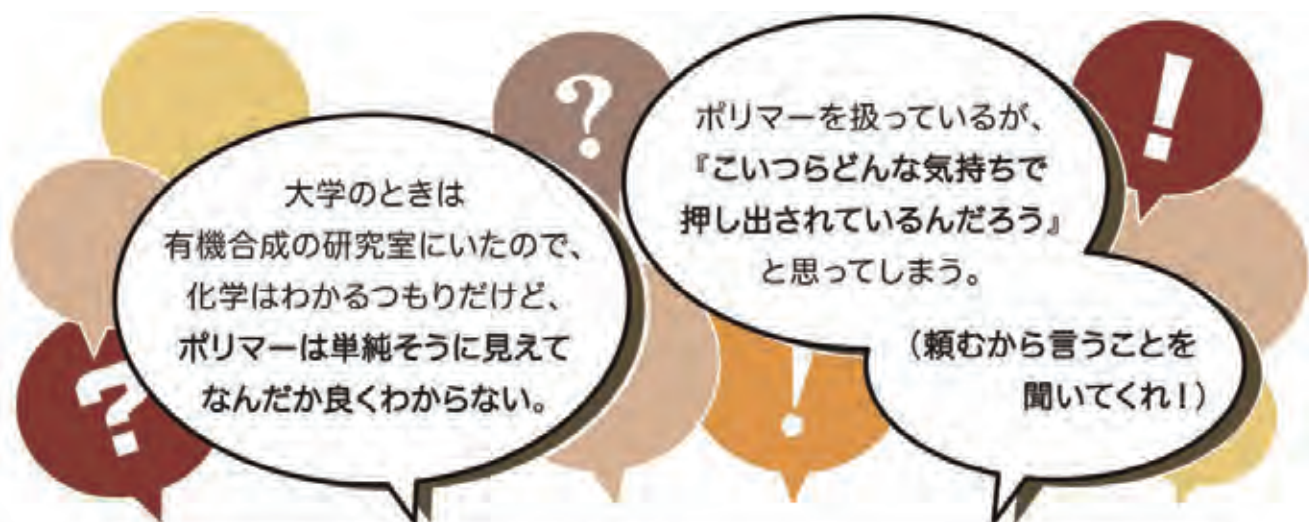
SINCE 1970.

100年後のタオルのために —

100年前に生まれ、今や世界中の
ほとんどの人が使っているタオル。
使われているシーンは、多様化しています。
にもかかわらず、表面上の変化のみで
構造的な進化はほとんど実現していない事を
ご存知でしょうか？

日常使いの大切な繊維製品、タオル。
私たちは、このまま放っておく事は出来ません。
100年後のタオルはどうあるべきかを
一切の妥協をせず、追求していきます。

2019年度 高分子基礎講座 受講生募集



こんな疑問を持っている人はいませんか。
その疑問を東京工業大学の教員が親切に解いて差し上げます。

主催：（財）繊維工業技術振興会 東京工業大学物質理工学院材料系内

開催場所：東京工業大学 大岡山キャンパス

講師：東京工業大学の高分子を専門とする教員を中心に、
一線級の講師陣が指導します。

日程：2019年9月7日～2020年2月8日の各土曜日18回

時間：13:00～14:40（A講師）

15:00～16:40（B講師）

各回に担当講師の最新研究例を紹介（10分）

受講料：全18回分（全5講座）25万円

・1講座のみ受講（高分子関連特許講座を除く）10万円

・高分子関連特許講座 5万円

詳細はホームページをご覧ください <http://www.fibertech.or.jp/>

問い合わせ先

東京工業大学物質理工学院材料系

早川晃鏡：hayakawa.t.ac@m.titech.ac.jp

事務担当：神戸ちさえ kambe.c.aa@m.titech.ac.jp, Tel: 03-5734-2429

たとえば、
海の水を飲料水に変えることができたなら。
医療に役立つ遺伝子解析をもっと確実なものにできたなら。
次世代エコカーを進化させ、環境への負荷をより減らせたなら。
機能性ウェアを環境にやさしい植物由来にできたなら。
食品をロングライフ化し、食糧ロスを少しでも減らすことができたなら。
だれもが、より自分らしく暮らせる社会をつくれたなら。

素材には、その力がある。
なぜなら、世界のすべては、
素材でできているから。
世界は可能性で満ちている。私たちはそう信じている。

素材には、社会を変える力がある。



2019年度 高分子基礎講座

受講生募集

高分子物性講座

- 9月7日 A：高分子とは（物性の立場から）（安藤慎治）
B：孤立高分子鎖，分子量・分布（野島修一）
- 9月14日 A+B：希薄溶液・濃厚溶液・ブレンド（野島修一）
- 9月21日 A：マクロ・ミクロ相分離（扇澤敏明）
B：高分子アモルファス・ガラス転移（扇澤敏明）
- 9月28日 A：高分子結晶（浅井茂雄）
B：高分子シミュレーション（古屋秀峰）
- 10月5日 A+B：高分子レオロジー（戸木田雅利）

高分子分析講座

- 10月12日 A：分子量測定法（早川晃鏡）
B：NMR構造解析法（古屋秀峰）
- 10月19日 A+B：紫外可視・赤外・ラマン分光解析（安藤慎治）
- 10月26日 A：電子顕微鏡による構造解析
（堀内伸・産業技術総合研究所）
B：走査型プローブ顕微鏡による構造解析（中嶋健）
- 11月2日 A：広角X線回折法（浅井茂雄）
B：小角X線散乱法（野島修一）

高分子応用物性講座

- 11月9日 A：高分子ゲル物性（酒井崇匡・東京大学）
B：生体・医用高分子（芹澤武）
- 11月16日 A：高分子熱物性（森川淳子）
B：高分子電気物性（松本英俊）
- 11月30日 A：高分子光学物性（石川謙）
B：高分子表面界面物性（中嶋健）
- 12月14日 A：高分子複合材料物性（浅井茂雄）
B：高分子変形・破壊（塩谷正俊）
- 12月21日 A：高分子の応用物性（鞠谷雄士）
B：繊維高分子・成形加工（鞠谷雄士）

高分子合成講座

- 1月11日 A：ラジカル重合（大塚英幸）
B：高分子反応（大塚英幸）
- 1月25日 A：カチオン・配位重合（石曾根隆）
B：アニオン重合（石曾根隆）
- 2月1日 A+B：重縮合・重付加・付加縮合（早川晃鏡）

高分子関連特許講座

- 2月8日 A+B：高分子関連特許明細の書き方
（北島政明（J S R（株）））



繊維学会誌

2019年8月 第75巻 第8号 通巻 第881号

目 次

時 評	研究者という生き物の生き方	川口 春馬 P-413
-----	---------------	-------------

特 集	〈サステナブル社会(その2)〉 海洋環境での有機リサイクルを実現する、 時限生分解性プラスチックの提案 鈴木 美和・橘 熊野・粕谷 健一 P-414 繊維リサイクルの観点による“つくる責任、つかう責任” 木村 照夫 P-420 バイオマス素材「テラマック」と PLA 繊維が創る これからの社会 岡本 昌司 P-426
-----	---

解 説	〈2018年度奨励賞受賞者(その1)〉 繊維材料を用いたアクチュエータに関する研究 浅井 華子 P-431
-----	--

連 載	〈業界マイスターに学ぶ アパレル製品の基礎講座-18〉 各論 第5章「靴下」 上田 良行 P-435
-----	---

繊維学会創立70周年記念連載	〈技術が支えた日本の繊維産業-生産・販売・商品開発の歩み-71〉 第二次世界大戦後の尾州産地 毛織物産業(下) 松下 義弘 P-444
----------------	--

海外ニュースレター	P-452
-----------	-------



Journal of The Society of Fiber Science and Technology, Japan

Vol. 75, No. 8 (August 2019)

Contents

Foreword Way of Life of Creatures Named Researchers Haruma KAWAGUCHI P-413

Special Issue on Sustainable Society (Part 2)

Proposal on Timing Degradable Plastics, Which Could Be Fully Mineralized in Marine Environments

Miwa SUZUKI, Yuya TACHIBANA, and Ken-ichi KASUYA P-414

“Responsible Consumption and Production” from the Viewpoint of Fiber Recycling

Teruo KIMURA P-420

Introduction of Biomass-Based Material “TERRAMAC” and the Future Society PLA Fibers Create

Shoji OKAMOTO P-426

Review

Study on an Actuator Consisting of Fibrous Materials

Hanako ASAI P-431

Series on Apparel Basic Course Lectured by Professional Engineers-18

Socks

Yoshiyuki UEDA P-435

Series of Historical Reviews of Japanese Textile Industry Supported by the Technology

—History of the Production, Sales, and Product Development—71

Textile Production Area “Bishu” after the World War II – Woolen Fabrics (Part II) –

Yoshihiro MATSUSHITA P-444

Foreign News Letter

P-452



Journal of Fiber Science and Technology (JFST)

Vol. 75, No. 8 (August 2019)

Transaction / 一般論文

❖ Effects of Loading Amount of Plasticizers on Improved Crystallization of Poly(L-lactic acid)

Pham Thi Ngoc Diep, Hideaki Takagi, Nobutaka Shimizu,

Noriyuki Igarashi, Sono Sasaki, and Shinichi Sakurai 99

繊維学会論文誌“Journal of Fiber Science and Technology (JFST)”

毎月の目次と抄録を繊維学会誌に掲載して参ります。本文はJ-Stageでご覧になれます。繊維学会のホームページ「学会誌・出版」から、また直接下記のアドレスにアクセスしてください。

英語: <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/fiberst>

日本語: <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/fiberst/-char/ja/>

JFST はどなたでも閲覧は自由で認証の必要はありません。但し、著作権は繊維学会に帰属されます。

Journal of Fiber Science and Technology 編集委員 Journal of Fiber Science and Technology, Editorial Board

編集委員長 Editor in Chief	鬘 谷 要 (和洋女子大学大学院) Kaname Katsuraya	編集副委員長 Vice-Editor	塩 谷 正 俊 (東京工業大学大学院) Masatoshi Shioya
編集委員 Associate Editors	青 木 隆 史 (京都工業繊維大学大学院) Takashi Aoki	内 田 哲 也 (岡山大学大学院) Tetsuya Uchida	金 井 博 幸 (信州大学) Hiroyuki Kanai
	上 高 原 浩 (京都大学大学院) Hiroshi Kamitakahara	河 原 豊 (群馬大学大学院) Yutaka Kawahara	北 岡 卓 也 (九州大学大学院) Takuya Kitaoka
	久保野 敦 史 (静岡大学) Atsushi Kubono	澤 渡 千 枝 (武庫川女子大学) Chie Sawatari	武 野 明 義 (岐阜大学) Akiyoshi Takeno
	趙 顯 或 (釜山大学校) Hyun Hok Cho	登 阪 雅 聡 (京都大学) Masatoshi Tosaka	花 田 美和子 (神戸松蔭女子学院大学) Miwako Hanada
	久 田 研 次 (福井大学大学院) Kenji Hisada	堀 場 洋 輔 (信州大学) Yohsuke Horiba	山 本 勝 宏 (名古屋工業大学) Katsuhiro Yamamoto

Effects of Loading Amount of Plasticizers on Improved Crystallization of Poly(L-lactic acid)

Pham Thi Ngoc Diep^{*1}, Hideaki Takagi^{*2},

Nobutaka Shimizu^{*2}, Noriyuki Igarashi^{*2},

Sono Sasaki^{*1}, and Shinichi Sakurai^{*1}

^{*1} Department of Biobased Materials Science, Kyoto Institute of Technology, Matsugasaki Hashikami, Sakyo-ku, Kyoto 606-8585, Japan

^{*2} High Energy Accelerator Research Organization (KEK), 1-1 Oho, Tsukuba, Ibaraki 305-0801, Japan

Poly(L-lactic acid) (PLLA) is one of the most popularly utilized biobased polymers, as it is derived from renewable sources (sugar, carbohydrate, etc). Although PLLA bears environmentally benign characteristics, there are crucial faults of PLLA such as slow crystallization and insufficient crystallinity which can be finally attained even after the fully thermal annealing. To improve crystallizability of PLLA, nucleation agents have been utilized. Although typical nucleation agents work at the solid state, we have reported that a special plasticizer (organic acid monoglyceride; OMG) can partly improve the crystallizability of PLLA. The results are significant because plasticizers are believed to delay crystallization of polymers by reducing the thermodynamical driving force of crystallization. We speculated that the lowering of the activation energy for the PLLA crystallization may be the main effect of the plasticizer. In this study, we confirmed that the enhanced crystallization of PLLA can be also attained by using a general plasticizer which is dioctyl phthalate (DOP). To identify the effects of loading amount of plasticizers on improved crystallization of PLLA, we conducted time-resolved small- and wide-angle X-ray scattering (SWAXS) and differential scanning calorimetric (DSC) measurements to follow, respectively, the isothermal and non-isothermal crystallization of PLLA/plasticizer specimens. Moreover, polarizing optical microscopic (POM) observation was conducted to evaluate the growth rate of a spherulite and the number of nuclei formed as a function of time. **J. Fiber Sci. Technol., 75(8), 99-111 (2019) doi 10.2115/fiberst.2019-0013**
©2019 The Society of Fiber Science and Technology, Japan

会告 2019

The Society of Fiber Science and Technology, Japan

Vol. 75, No. 8 (August 2019)

開催年月日	講演会・討論会等開催名(開催地)	掲載頁
2019. 9. 2(月)	第78回 WIN 定例講演会・第33回人間情報学会講演会 WIN・ICTOO 連携講演会「人間情報学における社会学連携」(東京都・お茶の水女子大学 国際交流プラザ)	A10
9. 3(火)	19-3 ポリマーフロンティア 21-放射光を利用した高分子材料開発の最前線-(東京都・東工大蔵前会館 ロイヤルブルーホール)	A10
9. 5(木) 6(金)	第28回日本睡眠環境学会学術大会 生活課題としての睡眠-睡眠教育と睡眠環境の重要性-(東広島市・東広島市市民文化センター)	A10
9. 11(水) ~13(金)	2019 年 第49回繊維学会夏季セミナー(北見市・ホテル黒部)	A3~A5
9. 13(金)	第169回 講演会「フィルム成形技術を理解する」(東京都・東京都立産業技術研究センター本部)	A10
10. 4(金)	2019 年 繊維学会東海支部講演会(名古屋市・ザ・コンダーハウス(The Conder House)6階)	A8
10. 4(金)	19-2 エコマテリアル研究会-機能性バイオベースポリマーの新展開-(吹田市・大阪大学大学院工学研究科化学棟 C1-311 教室)	A10
10. 24(木) 25(金)	第18回 高分子表面研究討論会(福岡市・九州大学稲盛財団記念館)	A10
10. 24(木) 25(金)	第24回高分子分析討論会(つくば市・つくば国際会議場)	A10
11. 9(土) 10(日)	2019 年 繊維学会秋季研究発表会(上田市・信州大学 繊維学部)	A6~A7
	繊維学会誌広告掲載募集要領・広告掲載申込書	2019年6月号
	繊維学会定款(2012年4月1日改訂)	2012年3月号
	Individual Membership Application Form	2012年12月号
	繊維学会誌報文投稿規定(2012年1月1日改訂)	2014年1月号
	訂正・変更届用紙	2014年3月号

「繊維学会誌」編集委員

編集委員長	土田 亮(岐阜大学名誉)
編集副委員長	髭谷 要(和洋女子大院) 出口 潤子(旭化成(株))
編集委員	植野 彰文(KBセーレン(株)) 大江 猛(大阪産業技術研究所) 大島 直久((一社)日本染色協会) 金 慶孝(信州大学)
	金 翼水(信州大学) 澤田 和也(大阪成蹊短期大学) 杉浦 和明(京都市産業技術研究所) 高崎 緑(京都工芸繊維大院)
	谷中 輝之(東洋紡(株)) 田村 篤男(帝人(株)) 西田 幸次(京都大院) 西村 高明(王子ホールディングス(株))
	船津 義嗣(東レ(株)) 村上 泰(信州大学) 山本 洋(三菱ケミカル(株)) 吉田 耕二(ユニチカトレーディング(株))
顧問	浦川 宏(京都工芸繊維大院) 松下 義弘(繊維・未来塾幹事)

2019年度 繊維学会主要行事予定

行 事 名	日 程	開 催 会 場 他
第 49 回夏季セミナー	2019年 9 月11日(水)、12日(木)、13日(金)	北海道北見市(ホテル黒部)
秋季研究発表会	2019年11月 9 日(土)、10日(日)	信州大学繊維学部(上田市) 「疾走するファイバー展」見学(予定)

繊維学会論文誌 “Journal of Fiber Science and Technology” のオープンアクセス化と著作権の取り扱いについて

繊維学会では今般の学会誌の刷新に伴い論文誌を Journal of Fiber Science and Technology (JFST) としてリニューアル致しました。これに伴いより積極的な情報発信を指向し、どなたでも閲覧できるオープンアクセス方式に切り換えております。ここで我々が使用したオープンアクセスの解釈は狭義にはフリーアクセスとされる「閲覧自由」という理解であり、二次利用まで開放するという意味ではありません。

現在、オープンアクセスにおける著作権譲渡の取り扱いおよび公開情報の二次利用については、Creative Commons 準拠等の活発な議論が行われております。

本学会でも常に時代に対応したルールによる運用を目指して、この問題を慎重に検討しておりますが、Creative Commons の普及状況等を考慮すると、現在は中長期的判断の非常に難しいタイミングであると考えています。

従って、当面本学会ではこれまで通り著者様から著作権譲渡を頂き、掲載内容の二次利用については著作権保護の立場から一般社団法人学術著作権協会に著作権管理および利用許諾業務を委託して参ります。

各位におかれましては JFST 掲載の著作物をご使用頂く場合は、この点をご理解いただき適切にご対応頂きますようお願い申し上げます。

複写される方へ

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、公益法人日本複製権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の方でない限り、著作権者から複写権等の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください。
〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル
(一社)学術著作権協会
TEL : 03-3475-5618 FAX : 03-3475-5619
E-mail : info@jaacc.jp

著作物の転載・翻訳のような、複写以外の許諾は、直接本会へご連絡ください。

アメリカ合衆国における複写については、次に連絡してください。

Copyright Clearance Center, Inc.
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA
Phone : 1-978-750-8400 FAX : 1-978-646-8600

2019 年 第 49 回繊維学会夏季セミナー

テーマ：繊維技術の新展開と実用化への取り組み

主 催：(一社)繊維学会

開催期間：2019 年 9 月 11 日(水)、12 日(木)、13 日(金)

会 場：ホテル黒部

〒090-0047 北海道北見市北 7 条西 1-1

TEL:0157-23-2251 URL: <https://www.hotel-kurobe.co.jp/>

交 通：女満別空港から北見行き連絡バスで 40 分。JR 石北本線北見駅から徒歩 8 分

羽田空港(1 日 5 往復)、名古屋中部空港(1 日 1 往復)

大阪空港・関西空港(季節便で 1 日各 1 往復)直行便あり(早得割引の確認)

定 員：250 名

参加費：

	正会員	一 般
大学・官公庁	25,000 円	28,000 円
企 業	35,000 円	38,000 円
学 生	8,000 円	10,000 円

*当日参加の場合は、一般料金となりますのでお早目の登録をお願いします。

懇親会費：大学・官公庁・企業 7,000 円、学生 3,000 円

*懇親会へ参加希望の方は、参加登録時に懇親会参加の有無を選択してください。

参加費振込先：

①現金書留：〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-9-209 繊維学会事務局 宛

②銀行振込：三菱 UFJ 銀行 目黒駅前支店 普通口座 4287837 口座名：一般社団法人 繊維学会

*参加費は現金書留又は、銀行振込みでお支払いください。

*振込手数料はご負担をお願い致します。

現金書留または銀行の控えをもって、本会からの領収書に代えさせていただきますが、領収書をご希望の方は当日受付にてお渡しします。

近隣ホテルの紹介： *北見市観光協会(TEL:0157-32-9900)

- ・ホテル黒部 ・ドーミーイン北見 ・コンフォートホテル北見
- ・北見ルートイン北見大通西 ・ホテルクラウンヒルズ北見(5 条通り)
- ・ホテルルートイン Grand 北見駅前 ・スーパーホテル北見
- ・北見ピアソンホテル ・東横イン北見駅前

問合わせ先：一般社団法人 繊維学会 夏季セミナー係 summer2019@fiber.or.jp

〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-9-208 TEL:03-3441-5627 FAX:03-3441-3260

第 49 回夏季セミナー実行委員会(敬称略、順不同)

実行委員長：吉田 孝(北見工業大学)

副実行委員長：寺境光俊(秋田大学、繊維学会東北・北海道支部長)

伊藤浩志(山形大学、繊維学会前東北・北海道支部長)

髙谷要(和洋女子大学、繊維学会 JFST 編集委員長)

実行委員：服部和幸(北見工業大学)、霜島慈岳(北見工業大学)、宮崎健輔(北見工業大学)、近藤寛子(北見工業大学)、渡辺眞次(北見工業大学)、浪越 毅(北見工業大学)、清水祐一(苫小牧高専)、浦木康光(北海道大学)

特別顧問：瓜生敏之(東京大学名誉教授)

事務局：野々村弘人(繊維学会)、山本恵美(繊維学会)

第1日目	プ ロ グ ラ ム	
	15:00 開 場	受付開始(ホテル黒部：北見市北7条西1-1)
	15:55～16:00	開会挨拶
	16:00～17:00	特別講演 1. 中田 篤(北方民族博物館主任学芸員) 「アイヌの伝統文化と現在」
	17:00～18:00	特別講演 2. 榊井文人(北見工業大学) 「競技としてのカーリングの魅力」(仮)
	18:00～18:30	懇親会会場へ移動(徒歩 10 分)
	18:30～20:00	懇親会(オホーツクビアファクトリー)

第2日目	9:00 開 場	天然塗料の新展開	機能性繊維の新展開
	9:30～10:15	宮腰哲雄(明治大学) 「グリーンポリマー漆の化学と機能材料開発」(仮)	高取永一(東ソー分析センター) 「バイオサイエンスの今後の展開」
	10:15～11:00	堤 卓也(堤浅吉漆商店) 「漆の塗料としての特長」	門川淳一(鹿児島大学) 「イオン液体を利用した構造多糖からのソフトマテリアル創製」
	11:00～11:15	(休 憩)	
	11:15～12:00	兼橋真二(東京農工大学) 「未利用・非可食バイオマス由来の環境調和機能性塗料の開発」	三枝孝拓(クレハ) 「医療からエネルギーに広がるポリグリコール酸の用途と技術開発」
	12:00～12:45	小林 節(カシュー) 「次世代型カシュー塗料の開発」	岩田忠久(東京大学) 「今、生分解性プラスチックに求めること！ー生分解性繊維の観点からー」
	12:45～14:15	(昼 食)	
	14:15 講演開始	紙パルプ製紙関係	繊維製造・加工の実用化への取組
	14:15～15:00	金野晴男(日本製紙) 「CNF(セルロースナノファイバー)の現況と今後の展開」	成島 毅(花王) 「ダイレクトエレクトロスピンニングの技術開発とシミュレーション」
	15:00～15:45	門田 優(王子エフテックス) 「製紙技術から生まれた特殊紙、機能材料」	奥林里子(京都工芸繊維大学) 「繊維の無水機能加工」
	15:45～16:00	(休 憩)	
	16:00～16:45	江前敏晴(筑波大学) 「製紙研究及び製紙産業の最新トレンド」	渡邊 圭(ナフィアス) 「ナノファイバー実用化への取組」
	16:45～17:30	黒木重樹(TBM) 「紙代替新素材 LIMEX(ライメックス)の開発」	井本聡一郎(スフェラーパワー) 「球体太陽電池のスマートテキスタイルへの応用」
	17:30～20:00	情報交換会(夏季セミナー会場)	

第3日目	9:00 集合	北見工業大学見学
	9:00～11:00	情報交換会(北見工業大学)

繊維学会

第49回夏季セミナー 北海道北見市で開催 (令和元年9月11日(水)～13日(金))

北海道オホーツク地域



9月11日(水) 特別講演2題(16時から。その後オホーツクピアファクトリで懇親会)
・中田 篤 主任学芸員(北方民族博物館)「アイヌの伝統文化と現在」(仮題)
・梶井 文人 教授(北見工業大学)「情報科学を使ったカーリング支援研究が地域貢献
になるとき」(仮題)

9月12日(木) 専門講師による講演16題(朝からホテル黒部で)

9月13日(金) 情報交換会(於、北見工業大学)

※北見市へのアクセス

・航空機:新千歳から1日6往復、羽田5往復、名古屋中部、伊丹、関西から各1往復
女満別空港からJR北見駅まで連絡バス42分(1,000円)。

⑧ 新千歳には日本各地からLCCも就航。学生さんにも嬉しい価格です。

・札幌駅から北見駅までJR or 高速バスで4時間半。バスはほぼ1時間ごとに出発。(往復一般
10,050円、学割9,050円。片道一般5,340円、学割4,830円)。セミナー終了後には新千歳から
帰るのも一考かと。バスはまさに北海道を横断し、天気がよければ北海道の景色を堪能できます。

⑨ 高速バスは札幌駅バスターミナル発着。大型バス、一人掛けシート。

・満席でない限り予約なしでも乗車可能、座席も選択可(お勧めは最前方左窓側)。

(出来たら予約が望ましい。ネットまたは電話。北海道中央バス予約センター:0570-200-600)

※会場のホテル黒部にはJR北見駅を背に中央大通り坂道を直進左側、徒歩5、6分。

2019 年 繊維学会秋季研究発表会

主 催：一般社団法人 繊維学会

日 時：2019 年 11 月 9 日(土)～10 日(日)

会 場：信州大学 繊維学部(〒386-8567 長野県上田市常田 3 丁目 15-1)

<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/textiles/>

ポスター発表：発表者と参加者の活発な議論による所属や研究分野を超えた交流を推進する為、ポスター発表の場を設けています。若手部門を設け、優秀発表者へポスター賞を授与いたします。(学生会員が対象)

発表申込期間：2019 年 6 月下旬より～2019 年 8 月 30 日(金) 17 時

要旨原稿投稿期間：2019 年 9 月 18 日(水)～2019 年 9 月 27 日(金)

事前参加登録申込締切：2019 年 10 月 31 日(木)

発表者をご希望される方は、HP よりお申込みください。

*特別講演 2 件(予定)

研究発表以外に、疾走するファイバー展、繊維学部資料館(旧貯蔵庫)、学内施設見学を予定しております。

参加登録費：繊維学会正会員・維持・賛助会員 8,000 円

非会員 15,000 円

繊維学会学生会員 3,000 円

学生非会員 6,000 円

当日登録料：繊維学会正会員・維持・賛助会員 10,000 円

非会員 18,000 円

繊維学会学生会員 5,000 円

学生非会員 8,000 円

*共催団体に所属されている方、関係者の方は会員価格でご参加いただけます。

懇親会：11 月 9 日(土) 繊維学部 生協(18:00～20:00(予定))

懇親会費：正会員・非会員 4,000 円、学生会員・非会員 2,000 円 *当日は 1,000 円増

*その他、ご質問等は一般社団法人 繊維学会事務局へお問合せください。

TEL:03-3441-5627 E-mail:office@fiber.or.jp

2019 年度

11/9[Sat]・10[Sun]

繊維学会

秋季研究発表会

発表申込締切：2019/8/30[Fri]

事前参加登録締切：2019/10/31[Thu]

会 場：信州大学 繊維学部

発表セッション：

1. 繊維・高分子材料の創製
2. 繊維・高分子材料の機能（オプティクス・フォトンクス、接着・界面/表面機能）
3. 繊維・高分子材料の物理・ソフトマテリアルの物理
4. 成形・加工・紡糸（繊維・フィルム、複合材料・多孔体）
5. 天然繊維・生体高分子
(紙・パルプ、天然材料・ナノファイバー、バイオポリマー、生分解性材料)
6. バイオ・メディカルマテリアル／セルロース・キチン・キトサン
7. テキスタイルサイエンス
8. スマートテキスタイル
9. 【特別セッション】ナノファイバー
(ナノファイバーの作製、ナノファイバーの構造と物性、ナノファイバーの応用)
10. 【若手研究会特別セッション】(依頼講演のみ)

詳しくはホームページ(www.fiber.or.jp)をご覧ください。

【問い合わせ先】

一般社団法人繊維学会 秋季研究会係 (E-mail: autumn2019@fiber.or.jp)

〒141-0021 東京都品川区上大崎3-3-9-208 (TEL: 03-3441-5627, FAX: 03-3441-3260)

2019 年 繊維学会東海支部講演会

主 催：一般社団法人 繊維学会 東海支部

協 賛(予定)：高分子学会東海支部、日本接着学会中部支部、日本繊維機械学会東海支部、日本繊維製品消費科学
会東海支部、プラスチック成形加工学会東海支部

日 時：2019 年 10 月 4 日(金) 13:00～16:30

会 場：ザ・コンダーハウス(The Conder House)6 階

〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦二丁目 20 番 25 号

アクセス：地下鉄東山線・鶴舞線「伏見」駅 3 番出口より徒歩約 2 分

(<https://theconderhouse.com/access/>)

主 題：“未来の紙：セルロースナノファイバー” が世界を変える!?

セルロースナノファイバー(CNF)は、エネルギー小国ニッポンにおける森林資源の活用と日本発の先端
素材であることから、産業応用への大きな期待を集めている。CNF×医療・自動車・エレクトロニクス
の各分野でご活躍の 3 名の先生方にご講演をいただきます。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

プログラム(講演 1 時間、質疑応答含む)

12:30－ 受付

13:00－13:15 支部長挨拶・施設紹介(旧名古屋銀行本店)

13:15－14:15 講演 1(国研)物質・材料研究機構

西口 昭広

14:15－15:15 講演 2(地独)京都市産業技術研究所

仙波 健

15:30－16:30 講演 3 大阪大学産業科学研究所

能木 雅也

なお、講演会終了後(16:45－18:30)、講師を囲んだ研究交流会(名刺交換)としてライトパーティーもザ・コンダー
ハウスにて予定しておりますので、多数ご参加をお待ちしております。

プログラム・参加申込み方法の詳細について、9 月号に掲載予定です。

問合せ & 申込先：名古屋工業大学大学院 工学研究科生命・応用化学専攻 永田謙二

TEL & FAX: 052-735-5257、E-mail: nagata.keji@nitech.ac.jp

2019 年（令和元年度）繊維学会各賞受賞候補者募集要項

当学会では、功績賞、学会賞、技術賞、論文賞、奨励賞、紙・パルプ論文賞を設け、一般会員より広く推薦（応募）を求めています。2019 年度も例年通り、各賞の表彰を行いたく受賞候補者の推薦または応募を頂きますようお願い申し上げます。なお、論文賞は、一般公募をせず、論文賞選考委員によりその年の繊維学会論文誌(JFST)に掲載されました論文から選考されます。

推薦（応募）書類は、下記の所属支部長または学会事務局へ期限までに提出をお願いします。

- ・推薦（応募）書類はホームページ <http://www.fiber.or.jp/> の学会賞に掲示してありますので、ダウンロードしてご利用ください。
- ・会員（維持会員、賛助会員を含む）は受賞候補者の資格を有し、自薦・他薦を問わない。
- ・推薦（応募）書類の提出期限は 2019 年 12 月 25 日（水）迄です。
- ・歴代受賞者はホームページ <http://www.fiber.or.jp/> に掲載しています。

1. 繊維学会功績賞

- ① 対象：原則として、受賞年（2020 年）の 4 月 1 日において満 60 歳以上の本会会員で、多年にわたり繊維学会の発展に顕著な業績をあげた者、または繊維科学あるいは繊維工業の発展に優れた業績をあげた者。
- ② 表彰の件数：原則、5 件以内。
- ③ 表彰状および賞牌の授与。

2. 繊維学会賞

- ① 対象：原則として、受賞年（2020 年）の 4 月 1 日においての年齢（年齢制限を検討中）と本会会員であること。繊維科学について独創的で優秀な研究を行い、さらに研究の発展が期待される研究者。
- ② 表彰の件数：原則、2 件以内。
- ③ 表彰状、賞牌および副賞の授与。

3. 技術賞

- ① 対象：本会会員（維持・賛助会員を含む）で、繊維に関する技術について、優秀な研究、発明または開発を行い、繊維工業の発展に貢献した個人またはグループ。
- ② 表彰の件数：原則として、技術部門 3 件以内、市場部門 1 件以内。
- ③ 表彰状および賞牌の授与。

4. 論文賞

- ① 対象：本会会員（維持・賛助会員を含む）で、繊維科学および繊維技術に関し、その年（2019 年 1 月号～12 月号）の本会論文誌(JFST)に論文を発表した研究者。
- ② 表彰の件数：3 件以内。
- ③ 表彰状、賞牌および副賞の授与。

5. 奨励賞

- ① 対象：原則として、受賞年（2020 年）の 4 月 1 日においての年齢（年齢制限を検討中）本会会員であること。繊維科学もしくは繊維技術について優秀な研究を行い、今後も継続して期待ができる新進気鋭の研究者。
- ② 表彰の件数：原則として、3 件以内。
- ③ 表彰状、賞牌および副賞の授与。

6. 紙・パルプ論文賞（事前に事務局へお問い合わせください）

- ① 対象：原則として、受賞年（2020 年）の 4 月 1 日において満 40 歳未満の本会会員であること。過去 5 年間に本会論文誌(JFST)に論文 2 編以上を発表した新進気鋭の研究者。
- ② 推薦（応募）書類は、学会事務局へ期限までに提出をお願いします。
- ③ 表彰の件数：原則として、1 件以内。
- ④ 表彰状、賞牌および副賞の授与。

問合せ先

本部 一般社団法人 繊維学会事務局

〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-9-208

TEL: 03-3441-5627 FAX: 03-3441-3260 E-mail: office@fiber.or.jp

支部 各支部の支部長にお問い合わせください。

各支部長の電話番号は繊維学会事務局にお問い合わせください。（TEL: 03-3441-5627）

支部名	支部長名	所在地	メールアドレス
東北・北海道	寺境 光俊	〒010-8502 秋田県秋田市手形学園町 1-1 秋田大学大学院 理工学研究科 応用化学コース	mijikei@gipc.akita-u.ac.jp
関 東	斎藤 拓	〒184-8588 東京都小金井市中町 2-24-16 東京農工大学 工学部 有機材料化学科	hsaitou@cc.tuat.ac.jp
東 海	吉水 広明	〒466-8555 愛知県名古屋市中区昭和区御器所町 名古屋工業大学大学院 生命応用化学科	yoshimizu.hiroaki@nitech.ac.jp
北 陸	中根 幸治	〒910-8507 福井県福井市文京 3-9-1 福井大学 大学院工学研究科	nakane@u-fukui.ac.jp
関 西	浦川 宏	〒606-8585 京都府京都市左京区松ヶ崎橋上町 1 京都工芸繊維大学 繊維学系	urakawa@kit.jp
西 部	門川 淳一	〒890-0065 鹿児島県鹿児島市郡元 1-21-40 鹿児島大学大学院 理工学研究科	kadokawa@eng.kagoshima-u.ac.jp

**第 78 回 WIN 定例講演会・
第 33 回人間情報学会講演会
WIN・ICTOO 連携講演会
「人間情報学における社会学連携」**

日 時：2019 年 9 月 2 日(月) 14:00～17:00
会 場：お茶の水女子大学 国際交流プラザ 2 階
多目的ホール
プログラム：講演 3 件、健康講和 1 件、名刺交換会・
交流会
講演 「IT ヘルスケアの取り組み」
お茶の水女子大学 太田裕治
「VR イメージトレーニングシステムの実現
と野球への適用」
NTT メディアインテリジェンス研究所
三上 弾
「生体情報を用いた感情推定と IoT・ロボッ
ト応用」 芝浦工業大学 菅谷みどり
健康講話 赤門前クリニック医院長 吉田たかよし
申込方法：事務局までメールにてお申込みください。
(E-mail: admin@npowin.org)

**第 169 回講演会
「フィルム成形技術を理解する」**

主 催：プラスチック成形加工学会
日 時：2019 年 9 月 13 日(金)
会 場：東京都立産業技術研究センター本部
プログラム：講演 4 件
詳細はホームページ <http://www.jspp.or.jp> を参照
ください。
申込・問合せ先：(一社)プラスチック成形加工学会
事務局(東京都品川区大崎 5-8-5
グリーンプラザ五反田第 2-205)
TEL: 03-5436-3822
E-mail: kikaku-event@jspp.or.jp

**第 28 回日本睡眠環境学会学術大会
生活課題としての睡眠
— 睡眠教育と睡眠環境の重要性 —**

主 催：日本睡眠環境学会
日 時：2019 年 9 月 5 日(木)、6 日(金)
会 場：東広島市市民文化センター
(東広島市西條西本町 28-6)
プログラム：招聘講演、特別講演、教育講演、シンポ
ジウムなど
詳細はホームページ <https://sites.google.com/view/jsse28th/> を参照ください。
問合せ先：大会事務局
E-mail: ssejapan28th@gmail.com
日本睡眠環境学会事務局
E-mail: info@see-japan.com

**19-3 ポリマーフロンティア 21
— 放射光を利用した高分子材料開発の最前線 —**

主 催：高分子学会 行事委員会
日 時：2019 年 9 月 3 日(火) 10:20～17:20
会 場：東工大蔵前会館 ロイヤルブルーホール
プログラム：講演 6 件、名刺交換会
詳細は主催団体にお問い合わせください。
問合せ先：高分子学会 19-3 ポリマーフロンティア 2
事務担当 (株)AndTech 青木様、津山様
E-mail: aoki@andtech.co.jp
E-mail: tsuyama@andtech.co.jp

**19-2 エコマテリアル研究会
— 機能性バイオベースポリマーの新展開 —**

主 催：高分子学会 エコマテリアル研究会
日 時：2019 年 10 月 4 日(金) 13:00～16:45
会 場：大阪大学大学院工学研究科化学棟
C1-311 教室
プログラム：講演 6 件
詳細は主催団体にお問い合わせください。
問合せ先：高分子学会 19-2 エコマテリアル研究会
事務担当 堀井
TEL: 03-5540-3770
E-mail: m-takeuch@spsj.or.jp

第 18 回高分子表面研究討論会

主 催：高分子学会 高分子表面研究会
日 時：2019 年 10 月 24 日(木)、25 日(金)
会 場：九州大学稲盛財団記念館(福岡市元岡 744)
プログラム：依頼発表 3 件、特別講演 1 件、
ポスター発表 18 件
詳細は主催団体またはホームページでご確認ください。
問合せ先：高分子学会 第18回高分子表面研究討論会
事務担当 堀井
TEL: 03-5540-3770
E-mail: m-takeuch@spsj.or.jp

第 24 回高分子分析討論会

主 催：日本分析化学会 高分子分析研究懇談会
日 時：2019 年 10 月 24 日(木)、25 日(金)
会 場：つくば国際会議場(つくば市竹園 2-20-3)
プログラム：特別講演とポスター発表
高分子分析・特性解析全般に関する討論
で研究発表論文を募集
詳細はホームページ(<http://www.pacd.jp/>)を参照
ください。
問合せ先：国立研究開発法人 産業技術総合研究所
機能化学研究部門
水門潤治 TEL: 029-861-2927
E-mail: pacd-touron@pacd.jp